

NZSJ は 1959 年 11 月から数えて、今年度は創立 62 年目を迎えております。

はじめに

日本ニュージーランド協会 会員の皆さま ご無沙汰いたしております。

2021 年も残り一か月半です。今年もコロナ感染ではじまりワクチン接種に集中し、無観客での東京オリンピック開催でした。自粛期間中でしたので、テレビでオリンピックゲームの応援に集中しました。振り返りましたら、今年の月日が走馬灯のように頭をよぎります。コロナ感染はここ一か月は日本国内では感染者が激減しており、世界諸国と比較するとこの現象は医療関係者や感染症研究者にとって明確な原因が確定できないようです。ワクチン接種はもちろん、手洗い、マスク、飛沫拡大を意識して行動する日本人の生活習慣なのか？ 又はアジア人、日本人の DNA なのか？

コロナ感染がこのまま終息するとは思いませんが、日々の生活に感染を防ぐ行為を習慣としている日本人を他の諸国の人たちの習慣になり日常生活にも浸透するかもしれません。

2022 年はどのような年になるかはまだ、感染状況の様子をみないとまったくわかりませんが、少なくともより活発に活動できる年になることは推察できます。

皆さまも 2021 年残りの月日を前向きにお過ごしください。今年最後の例会の計画も延期になりましたが、新しい年はより活動的な計画を実行できればと考えております。

皆様には長期に渡り、日本ニュージーランド協会東京の活動をご支援頂きまして大変感謝致しております。どうぞ今後共に変わらぬご支援、ご協力をお願いもうしあげます。

日本ニュージーランド協会
会長 山崎 弘子

1. 活動報告 (2021 年 3 月～2021 年 11 月)

3月 13日 (土) : 日本ニュージーランド協会、日本マンスフィールド協会と共に合同研究会をインターネット上にてバーチャル開催し、本協会の片山理事が Zoom によるオンライン講演をしました。(詳細は後述)

7月 4日 (日) : 初めてのオンライン理事会を開催し、ニュージーランドのジリアン理事、大分の麻生支部長などを含めた打ち合わせをしました。

7月 31日 (土) : ニュージーランド、東京、大阪、大分を結んでのオンライン🍷ワインパーティを開催しました。(詳細は後述)

10月 16日 (土) : 「西森禎子 回顧そして未来展」見学 (山崎会長他 3 名)

10月 30日 (土) : オンライン理事会にて今後の活動方針を話し合いました。

12月 4日 (土) : 久しぶりの対面理事会にて来年の活動について話し合いました。

2. 合同研究会の実施報告

日本ニュージーランド学会、日本ニュージーランド協会、日本マンスフィールド協会による合同研究会を、下記の通りインターネット上で開催しました。

日 時 : 2021 年 3 月 13 日 (土) ~ 20 日 (土)

場 所 : 日本ニュージーランド協会ホームページ <http://nzsj.tokyo>

研究発表 : 1. 山田修平 (日本ニュージーランド学会)

「高等学校生物学習における生態系の学習内容の分析」
- 野生動物の保護への関心を向上させるための単元開発 -

2. 片山愛一（日本ニュージーランド協会）
「最新通信技術がもたらすニュージーランドの進化」
3. 柴田優子（中央学院大学、日本マンスフィールド協会会長）
「マンスフィールドの New Zealand Stories」

3. オンライン🍷ワインパーティの実施報告

参加者はパーティ開始前のみ参加の森さんも含めて述べ12名でした。

【パーティ参加者（敬称略、NZ: New Zealand）】

日本 NZ 協会(東京)： 山崎、水野、庄司、八木、片山、森
NZ より Jillian Yorke、粕谷

日本 NZ 協会(関西)： 呉橋、永田

日本 NZ 協会(大分)： 麻生

NZJS(of Auckland)： Sonia Yoshioka Braid

パーティの準備時間 13:30～13:55 に森 尚美さんが参加され、パーティ開始前の短い時間ながらも、山崎弘子会長、水野伸夫副会長、庄司桂一郎副会長も含めた数人の仲間との近況確認を含めた情報交換ができました。特に大きなトラブルもなく 14:00 よりパーティを開始し、無料 Zoom サービス故の時間制限により課せられるネットワークの再接続を、3 回に渡りこなしながらも 16:00 までの 2 時間を楽しく過ごすことができました。

まずは、水野伸夫副会長の発声により、参加者それぞれに用意していただいたお気に入りのワインを片手に乾杯をしました。



バーチャルながらも、東京、大阪、大分、そしてニュージーランドが一つになっての賑やかな🍷ワインパーティが始まりました。

本年 6 月までの 25 年間 NZJS の会長を務められていた今井久美子さんも、このパーティへの参加を楽しみにされていましたが、残念ながらご都合が悪く参加して頂けませんでした。彼女の最後の仕事として準備を進めて来られた [Taste of Japan](#) は Covid-19 ロックダウンと重なって、昨年 10 月に引き続き本年 2 月にも再び流れてしまいましたが、新 NZJS 会長ソニアさんの下で、7 月 24 日無事に開催されたようです。

今井さんは、今後も NZSJ 名誉会員として活動を続けられると共に、このようなイベントへの次回参加を楽しみにして下さっています。(今井さん、25 年間、本当にご苦労様でした・・・)

お母様が日本人の NZJS 新会長のソニアさんは、日本語が喋れないながらも私達の会話に楽しそうに耳を傾けておられました。一週間前に [Taste of Japan](#) が開かれたことを報告していただいたほか、ニュージーランドにおける行き届いた Covid-19 対策について詳しく語って下さいました。



八木倫明さんが、8 月 9 日のコンサートで初公開する予定で作詞された Pokarekare Ana 日本語版を、初公開に先立って、自らアカペラで歌って下さいました。少々酔いの回った軽やかな歌声に皆で聞き惚れていました。この日本語版の詳細については[八木倫明さんのブログ](#)を参照して下さい。



やぎりん

 **ポーカレカレ アーナ ふしぎな笛(ふえ)の音(ね)・・・♪**

八木倫明さんの音楽家・作詞家としてのペンネームは『やぎりん』です。

今後は親しみをこめて**やぎりんさん**と呼んであげて下さい♡

Jillian さんのご主人森下 均さんが作成されたモニュメント Covid-19 Star Alliance の写真と作成した経緯を語るレポートが紹介されました。

このモニュメントはその後、Jillian さん達と同様にパエロアに在住のニュージーランドで著名な芸術家 ジュディ・パーカーさんが自宅庭園で開催したオープンデーに展示されたそうです。(写真はその展示会での一場面です)



森下 均さんご自慢の Covid-19 Star Alliance (オープンデー会場にて Jillian さんと共に)

4. 「西森禎子 回顧そして未来展=ZERO の誕生=」 見学

2021 年 10 月 12 日(火)～17 日(日) 神奈川県民ホールギャラリー にて開催

パリで制作した「ZERO の誕生」～壺は宇宙～ が 1971 年秋の展覧会サロンドートンヌに出展され、この作品が「ZERO の誕生」の始まりだそうです。今回の個展は 50 年間の現在までの作品を一気に展示し、未来にむけて生命の始源を追求し続けた素晴らしい作品集でした。

NZ 協会のメンバーの岡さんと一緒に、お祝いに個展会場に伺ってきました。

別の日に水野さん、佐藤さんも会場に行ってくださいましたとのこと。



左より、山崎(筆者)、西森禎子さん、岡さん

当協会のメンバーの西森さんは日本の横浜、メキシコ、ニュージーランドなどで壁画プロジェクトを遂行されてきました。

現地のお子さんたちと日本から西森さんに同行したお子さんたちが 100m の壁画に提案されたタイトルをそれぞれの子供たちの創作イメージで描きあげ、言葉も異なる国の子供たちが心をつなげて、10 日間程度の期間で描き上げた壁画は世界平和へと導かれているプロジェクトです。

大壁画「夢よ希望を風にのせて」
(メキシコにて)



今後も西森禎子さんの益々のご活躍をお祈りします。

日本ニュージーランド協会東京 山崎 弘子

5. 季節のご挨拶(2020 年)

日本図書館 ずっと開店休業状態が続いていましたが、12 月中旬に H の在留証明書取得に在オークランド日本国領事館に出向いてから、風向きが急変しました。この時、私たちの書いた英語の本を寄贈したのですが、この本に日本図書館の記載があることが受け取ったスタッフの目に留まり、事情を知りたいと言われました。実は総領事館で日本財団からの照会で、私たちの日本図書館の存在を探していたとのこと。総領事も含めて、早速、懇談となりました。

1 月 8 日には濱田総領事が図書館に来ていただきました。

これまでも、いつかいつかと考えていた HP を開設することにしました。これを機会に、この図書館がより広く活用されるようになればと願っています。



わが家の LOGO(ロゴ)



永年、考えてきましたが、ようやくわが家の LOGO (シンボルマーク) が完成しました。H の姓である Morishita の M と、J の姓である Yorke の Y を組み合わせて作りました。M を山の形に、Y を樹の形に見立てたものです。わが家の台所から見える当地のシンボルとなっている Karangahake 山からヒントを得たものです。最初に、友人に作ってもらったペーパーナイフに取り入れ、現在は陶磁器の皿に写してもらっています。

五右衛門えもん風呂ぶろ

今では、ほとんど消滅してしまったものに、五右衛門風呂があります。かつて、家庭風呂といえば、この五右衛門風呂が主流でした。名前の由来は、かの有名な大泥棒・石川五右衛門が処刑されるのに釜ゆでにされたところにあります。鉄の釜の下から火を焚き、お湯にする。釜にそのまま入ると底が熱いので、木のスノコを沈めて、その上に乗って入りました。

J の姪が、何を思ったか金属製のバスタブを持ってきてくれました。浴槽の内側は琺瑯ほうろうになっています。12 月になり、これを家から近い所に据え付けました。

敷地内に放置されていた長さ 1.8m、10 cm 角のコンクリート柱を運び、4 本立てて、浴槽の支えにしました。地中に 1m の深さに埋めました。このコンクリート柱、パドックのフェンス用に使われていたものと思います。

バスタブの下に、リサイクルショップで見つけたコンクリートブロックを敷き焚口にしました。案外、簡単に効率よく、30 分ほどでお湯になりました。まだバスタブが斜めすぎて入りにくいので、微調整が必要です。

12 月 20 日から、屋外での焚火規制が始まり、火を焚けなくなりました。これでは、数カ月の間、五右衛門風呂は焚けないことになります。火を使わず、お湯を作る方法を試しています。黒ビニルホースに水を入れて、コンクリートの上に転がしておけば、天気の良い日ならお湯になります。しかし、量の確保が心もとないです。バケツとかでは、なかなかお湯になりません。室内にあるストーブでお湯を沸かすことも考えています。

ここでは、屋外に蚊とかブヨとかはあまりいませんので、この五右衛門風呂、なかなか快適です。人目もないので目隠しは、今のところ作っていません。



サウナ 前々から、サウナを作るつもりでいますが、今現在、一頓挫しています。いちばんの理由は、適当なストーブが見つからないところにあります。サウナと言っても、2 種類あります。日本でよくある高温の熱風と吹き出すものと、フィンランド風のストーブの上に石を並べ、その石に木の葉で水を掛け、蒸気を発生させるものがあります。今、考えているのはフィンランド式です。そのためにはストーブが必要ですが、火を焚いて、ストーブの上部が熱くなるタイプのものが、この国では、なかなか見つかりません。安全上から販売していないようなのです。ストーブが見つからないと先に進めません。

小屋は自分で建てようかとも思っていました、いい大工さんがいましたので、この人に頼もうと思っています。材木は、製材業を営む J の友人にお願いするつもりです。どうもイメージが今一つしっかりしないので、いっそのことフィンランドを訪れ、田舎のサウナ巡りをしてから建築に向かおうかとも考え始めた所です。これまでも H は数回、田舎の湖のそばにあるサウナ小屋に行ったことがあります。フィンランドに行くことになれば、ロシアの侵攻が危惧されるバルト 3 国へも、行けるうちに行っておこうと思っています。

美味しいもの、旨いもの 2020 年はあまり外国にも行けず、美味しいもの、旨いものとの出会いは少なかったのですが、やっぱり 2 月に訪れた美食の国フランスは、すごいと思いました。宿にしたのはモンパルナス墓地の近くのホテルでした。宿は地下鉄を降りて、車のすれ違いも出来ないほどの路地にありました。しかし道の両側に肉、チーズ、アルコール、ワイン、果物、甘いもの、花、スーパー、デリカテッセンなどの店舗がずらっと並んでいました。食事は下手なレストランで取るよりは、こうした店で買物をしてホテルで食べた方が、落ち着いて食べられます。特に旨いと思ったのは地中海名物のタコ、イカの酢の物。しばらく魚を食べていなかったもので、これは旨かった。2 日続けて食べました。チーズも好みに合わせ、じっくりと説明をしてくれます。いつものことながらパリの朝、焼き立てのバゲットは美味しい。

NZ では、小さな港にある魚の店で買った鰯(たら)が旨かった。刺身、鍋にして食べました。日本にあって NZ にない食べ物の一つが、ホルモンです。肉類は豊富にあるのですが、内臓は捨てられてしまうのかホルモンはスーパーや精肉店で入手できません。探しに探し

て、肉類の解体をしている人に頼んで牛の腸を入手して、食べてみました。やはり久しぶりということもあり懐かしく食べましたが、油の多さに閉口して、2 回だけでこの試みは止めてしまいました。

これからは美味しいもの、旨いものの真逆のものです。NZ は間違いなく酪農大国です。これを期待して、美味しいバターを探していますが、これがないのです。スーパーのものは、今一つ。オークランドに出た折には、ちょっと洒落た食品専門店に行きましたが、チーズはたくさんあるのですがバター4 種類。一つ買って帰りましたが、美味しくなかった。

2021 年 1 月

アオ テア ロア(長く白い雲のたなびく国) ニュージーランドより

ジリアン・ヨーク jisabelle29yorke@gmail.com

森下 均 arbo4000@gmail.com

住 所 37 Edwin Road, RD4, Paeroa 3674, New Zealand

電 話 国番号(64)-7-862-6834

日本での携帯電話 090-1291-3361



6. 2022 年 1 月に「オンライン新年🍷ワインパーティ」を！

まだ計画中の段階ではありますが、7 月に開催して好評であったオンライン🍷ワインパーティを 1 月 22 日(土)または 29 日(土)の午後 1 時(ニュージーランドの午後 5 時)ごろより開催したいと思っています。年が明けましたらあらためてご案内いたしますが、お手持ちの🍷ワイン自慢、Covid-19 明けを期待しての 2022 年の抱負などをそれぞれに語って頂こうと考えておりますので、ご期待下さい🎵

年会費納入お願い

会員の方は 2021 年度年会費 3,000 円を例会などへのご出席時にお支払いいただくか、最寄りの郵便局または銀行にて下記口座へお振込み下さいますようお願い申し上げます。

銀行名：ゆうちょ銀行 記号：10180 番号：74818531

受取人名：ニホンニュージーランド' キョウカイ

なお、一般銀行からの振込方法は以下の通りです

銀行名：ゆうちょ ⇒ 支店名：先頭文字 セ を選択 ⇒ リストから ○一八 を選択

口座番号：7481853(末尾の 1 を削除) 受取人名：ニホンニュージーランド' キョウカイ



日本ニュージーランド協会

NEW ZEALAND SOCIETY OF JAPAN

2021 年度理事 (会長以外は 50 音順)

会長：山崎 弘子 理事：麻生 敏子、生沼 玲子、神谷 尚武、片山 愛一、佐藤 松雄、
Jillian Isabelle Yorke、真島 由香、庄司 桂一郎(副会長)、
丸山 有紀子(会計)、水野 伸夫(副会長) 監事：梅谷 要 顧問：黛 雅男

このニュースレターは、バックナンバーも含めて当協会ホームページでご覧いただけます



ホームページ
<http://nzsj.tokyo>

メールアドレス
nzsj@outlook.jp

